



広島オリーブ会

# オリーブひろしま

広島オリーブ会会報

第14号

2008(平成20)年5月31日発行  
 広島オリーブ会  
 事務局・☎730-0031  
 広島市中区紙屋町1-1-17  
 ガリバープロダクツ内  
 電話・082(240)0768  
 F A X・082(248)7565

## 平成19年度 新年互礼会&第一回青年部例会 「よかったから今年も」の声で 去年に続いて今年も神楽門前湯治村へ 温泉バスツアー敢行!

2008年2月2日(土)、新年互礼会を兼ねて第一回青年部例会が行われました。

2007年10月24日(水)の幹事会の席で、「今年度も青年部例会で温泉ツアーを」「去年行ってよかった」「それじゃあ、同じ場所へ」とトントン拍子に話がすすみ、今年度の青年部例会も神楽門前湯治村を訪ねることに決定しました。

「時期的に新年互礼会を兼ねよう」という織田会長の言葉で新年互礼会の位置づけも持った温泉バスツアーでしたが、当初、なかなか参加人数が集まらず、バスツアー成立10名の枠が危ういことになり、このままでは中止になってしまうと懸念し、再度声掛けをスタート。ご案内のメールを読み逃がしていた会員から参加の返事が届き、結局、三組のご夫婦を入れて12名の参加が確定。無事、バスツアー成立と相成りました。

当日は雪もあり、風情ある温泉風景に心も癒され、「来てよかった」と感じ入った次第です。お料理は美味しいし、話は尽きず、本当に楽しい半日でした。

た。男性陣は楽しさの余りお酒が過ぎたようでしたが(笑)。

心も体も和む青年部例会、20回生以下が青年部ではありませんが、規約上、心が青年部ならあなたも私も青年部です。どうぞ次は皆様、ぜひ参加してください。

また、こんな企画(例えばウォーキングや登山等)があったら参加したいといった希望がありましたら、青年部部長の浅野さん(22回生)へ伝えましょう。きっと、形にしてくださいませ。

それでは、心の青年部の皆様、次回の青年部例会でお会いしましょう!  
 (10回生 大成洋子)



くつろぐ参加者たち



温泉後、和気あいあいと宴会が行われました。美味しいお酒と料理に、参加者一同、大満足! 「来年も温泉ツアーをよろしく」と浅野青年部部長へリクエストしきりでした



幹事会への若手動員までお骨折りいただき、お蔭様で本日の総会も陸上部OBの仲間達と一緒に担当できることとなりました。

三藤副校長の如き花形選手もおらず、昨年のような派手なパフォーマンスはできませんが、チームワークで総会のバトンを繋いでいきますので、ご出席の皆様には旧交を温め、新たな出会いを楽しみ、明日への活力を蓄えていただきますよう祈念いたしております。

2008年度総会を28回生が担当するのは偶然ではなく、担当学年・サポート学年を忘れないよう下1桁を揃えている皆様の中には、既に幹事の不行届きが目に余ったという先輩方がいらっしやるかもしれません。以下の事情をご高察のうえ、ご容赦たまわりますようお願い申し上げます。

本年一月八日、28回生学年幹事の枝廣孝幸君が長期間の闘病の末逝ってしまいました。最後まで骨髄移植の適合ドナーを待っていました。大学受験を控えた息子さんと高校生の娘さんを残し、さぞ無念だったことでしょう。合掌。何もできなかった無力感に加え、一人幹事となった私は総会出席もほぼ10年おきという状況でしたので、今年「学年幹事方式」での総会開催そのものが危ぶまれておりました。

何とか開催まで漕ぎ着けたのは、サポート学年幹事(8・18回生)の皆様、勤務先の松浦先輩(19回生)・上野先輩(22回生)をはじめ諸先輩方の強力な支援に支えられてのことであり、とりわけ、役員・青年部や事務局の大森会計(27回生)には、総会の企画・案内・諸準備から学年幹事会への若手動員までお骨折りいただき、お蔭様で本日の総会も陸上部OBの仲間達と一緒に担当できることとなりました。

「下半分」の若手幹事が総会を担当いたします。来年の29回生は別として、それ以降については役員・事務局も危機感を抱き、青年部行事への積極勧誘、勤務先での会員・幹事の発掘、オリーブ会本部への卒業生情報提供依頼など広島オリーブ会活性化策を種々講じておられます。引き続きのご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、ご自宅でご覧の皆様、来年の総会には是非ご参加ください。「学年幹事は誰?」「今年度の行事予定は?」も遠慮なく事務局へお問い合わせください。

(第24回広島オリーブ会・橘香会総会幹事 オリーブ28回生 亀川伸二)

2007年の美術館鑑賞は「平山郁夫展」でした!

同志諸氏で美術を楽しもうという趣旨で始まった広島オリーブ会の美術館鑑賞会。例年1・2回、会員と家族・知人が集まって、美術鑑賞を楽しんでいます。

昨年(12月9日(土))に開催されました。参加者は22名。鑑賞先は、広島県立美術館で開催されていた「平山郁夫祈りの旅路」展です。

平山郁夫画伯といえば、言わずと知れた郷土出身の偉大な画家です。燃えさかる火炎に包まれた広島鎮魂と再生を願う「広島生変図」をはじめ、仏教伝来・シルクロードから、平和への祈りをテーマとした約80点の作品たちに、ただただ圧倒されたひと時でした。



総勢22名が広島県立美術館ロビーに集合

